

JIS

自動車のぎ装品用語

JIS D 0110-1988

(2006 確認)

昭和 63 年 3 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

自動車 航空部会 自動車専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	中 込 常 雄	学識経験者
	中 川 勝 弘	通商産業省機械情報産業局
	松 波 正 壽	運輸省地域交通局陸上技術安全部
	飛 田 勉	工業技術院標準部
	石 川 安 男	防衛庁装備局
	石 渡 正 治	財団法人日本自動車研究所
	梅 澤 清 彦	東京工業大学精密工学研究所
	大 西 徳	社団法人全日本トラック協会
	佐 藤 武	慶應義塾大学理工学部
	田 中 兼 吉	社団法人日本バス協会
	轟 秀	社団法人日本自動車連盟
	杉 浦 秀 昭	社団法人日本自動車整備振興会連合会
	岩 根 政 雄	社団法人日本自動車部品工業会
	大 槻 耕 一	日野自動車工業株式会社研究管理部
	改 田 護	トヨタ自動車株式会社技術管理部
	金 子 達 昭	日本自動車輸入組合
	作 道 清 行	三菱自動車工業株式会社技術本部技術管理部
	古 川 洋	社団法人自動車技術会
	藤 井 隆	日産自動車株式会社設計管理部
	牧 野 昇	本田技研工業株式会社総務部
	松 木 良 助	鈴木自動車工業株式会社技術管理部
	安 部 史 之	日産ディーゼル工業株式会社設計管理部
	一 瀬 修	マツダ株式会社東京技術部
	大 野 恭 二	いすゞ自動車株式会社特許部
	長 滝 清 敬	日本道路公団維持施設部
(関係者)	野 崎 武 敏	工業技術院機械技術研究所機械部
	石 川 健三郎	鈴木自動車工業株式会社実験部
(事務局)	江 口 信 彦	工業技術院標準部機械規格課
	牛 島 宏 育	工業技術院標準部機械規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和63.3.1

確認：平成5.7.1

官報公示：平成5.7.21

原案作成協力者：社団法人自動車技術会

審議部会：日本工業標準調査会 自動車 航空部会 (部会長 関 眞治)

審議専門委員会：自動車専門委員会 (委員長 中込 常雄)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室 (☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

自動車のぎ装品用語

D 0110-1988

(1993 確認)

Glossary of Terms Relating to Equipments of Automobiles

1. 適用範囲 この規格は、自動車（二輪自動車を除く。）のぎ（織）装品に関する用語について規定する。ただし、シート及び換気-空調装置に関するものは除く。

2. 分類 用語の分類は、次のとおりとする。

- (1) 全般
- (2) 外装品
- (3) 内装品
- (4) 共用品

3. 用語及び意味 用語及び意味は、次のとおりとする。

なお、対応外国語及び慣用語を参考として示す。

- 備考
- 1. 用語で、かな書きの後に（ ）で示している文字は、常用漢字でないもので、用語の一部ではない。
 - 2. 用語の一部に [] を付けてあるものは、[] 内は一般に省略する。
 - 3. 意味欄で用語の次に（ ）を付けて示した数字は、この規格における用語の番号を示す。
 - 4. 番号欄に“参考”と記載した用語は、引用規格の用語及び意味をそのまま転記したものである。
 - 5. 慣用語は、今後使用しない用語である。

(1) 全般

番号	用語	意味	備考	参考	
				対応外国語	慣用語
参考 (1-1)	ぎ（織）装品	居住性・装飾性を高め又は運行を補助する装置及び部品。空力付加装置を含む [JIS D 0104（自動車の主要装置用語）参照]。		equipment	
参考 (1-2)	シート	乗車する者が着座する装置。附属装置を含む (JIS D 0104 参照)。		seat	
参考 (1-3)	換気-空調装置	車室内の換気、暖房、冷房などを行う装置 (JIS D 0104 参照)。		ventilator and air conditioner	
参考 (1-4)	附属ぎ（織）装品	シート、換気-空調装置以外のぎ装品 (JIS D 0104 参照)。		auxiliary equipment	

引用規格：JIS D 0104 自動車の主要装置用語